

COG2025 応募内容確認書

ID	29-18-2
自治体名	大阪府大阪市東淀川区
自治体提示地域課題	社会環境の変化に応じた地域コミュニティの形について考える
チーム名	ステップアップ
アイデア名	みんなで育つミニ運動会
チーム属性	学生：学生（ ）だけで構成されたチーム
チームメンバー数	5
代表者	三浦 琉斗
メンバー（公開）	三浦 琉斗, 能勢 翔太郎, 安宅 遥都, 坂口 将太, 梅井 蓮音

【確認事項】

- < 応募のPDFファイル名と送付先 > 確認しました。
- < 応募内容の公開 > 確認しました。
- < 知的所有権・肖像権 > 確認しました。問題ありません。

チーム名：ステップアップ

アイデア名：みんなで育つミニ運動会

該当する自治体名：大阪市東淀川区

自治体提示の地域課題：社会環境の変化に応じた地域コミュニティの形について考える

【アイデア名】

みんなで育つミニ運動会

自治体：東淀川区

【全体像】

「子育て」と「運動」により様々な人々が交流できる場をつくり、新たなコミュニティの場から地域コミュニティの形成を目指す

【実施計画】

・計画内容

子育てと運動会を融合させたイベントを実施。

・誰が

地域在住の方（東淀川区役所、子育て支援プラザ、ボランティア）

・誰に

子育て世代（未就学児～小学生）

・何を

地域在住の方が主体となりイベントの運営をサポートする。子育て教室では子育て支援プラザによる講演会を実施する。スポーツ及び種目は一日に2種目のみ実施。

・どこで

大阪市立東淀川区民ホール

・いつ

2～3月の第2、4日曜日開催（計4回開催）

・実施するスポーツ及び種目

・クイズダーツ（子育てクイズに答えてポイントゲット。）

ルールはダーツと似た形で実施。最初にダーツを投げる→的の中心にいくほどクイズが少

し難しくなり高得点のポイントを得られる。

- ・**モルック**

得点がかかれた木の棒を倒すと得点がもらえるゲーム。

先に 50 点取ったチームの勝利。

- ・**玉入れ**

一般的なルールで実施予定

- ・**ペットボトルキャップフロアカーリング**

ペットボトルキャップを使ったカーリング。3～4メートル離れた得点サークルに向かって指を使って投げる安全かつどこでもできる。(デコピンなどでキャップを飛ばす)

- ・**リズムゲーム**

減点方式で実施。

- ・**ゲートボール**

パター方式で行う

※1日2種目の予定で6種目しかないが最終日は人気だった競技二つを行う

- ・**告知方法**

SNS (インスタグラム、TikTok)

→活動している様子を投稿

開催前はイベントの詳細や会場などの情報を投稿

チラシ (周辺施設に掲示)

イオンモールや周辺の駅、保育園や幼稚園

公式ライン (チラシに QR コードを記載し登録)

→LINE の内容

- ・情報を早期公開
- ・アドバイス術など少しだけ公開
- ・講演会情報

- ・**期待される効果**

運動会で自然と会話ができる関係を築くことにより地域コミュニティを生み出す。

運動会が終わった後も地域の人々や子育て世代の間でコミュニティが形成される

月2回に設定することでコストも抑えられる一方、参加者も継続的に参加しやすい

今後のコミュニティの場について

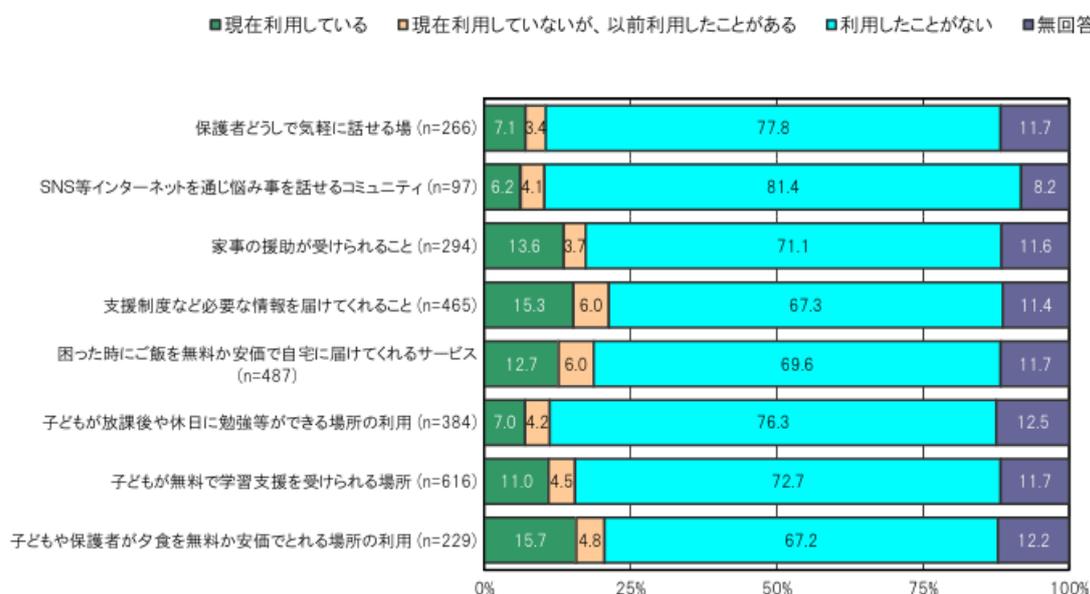
4日間の様子を見て期間延長しコミュニティの場として続ける

【アイデアの理由】

→東淀川区の目指す将来像を実現させるため

東淀川区の目指す将来像には5つの柱がある。そのうちのひとつである「1. 自助共助を担う地域力とにぎわいのあるまちづくり」に焦点を当てこの企画を考えた。地域コミュニティを実現させるためにはまず住民が話しやすいコミュニティの場を作ることが大切になってくる。下のグラフは身近にあるといいモノについての調査結果である。一番上の保護者同士で気軽に話せる場を利用したことがない人が7割と大半を占めている。

【大阪市東淀川区／身近にあると思うもの別】



下記図は保護者に向けた何でも相談できる場所を利用したことによる変化の調査結果である。話せる場を作ったことにより気軽に相談ができコミュニティが形成された。

【小・中全体】



参考文献 大阪市 子どもの生活に関する実態調査報告書（上記2つのデータ）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000625476.html>

子育て支援プラザが行う講演会は出張型と支援センター内で行われるが利用率が少ない。また大阪府が行った「子育てが地域の人に支えられているか」という調査を行ったが「支えられている」と回答した人は減少傾向にあり、「支えられていない」と回答した人は増加傾向にある。このことから地域の方と交流しながら子育てに悩む人が相談できる場を作

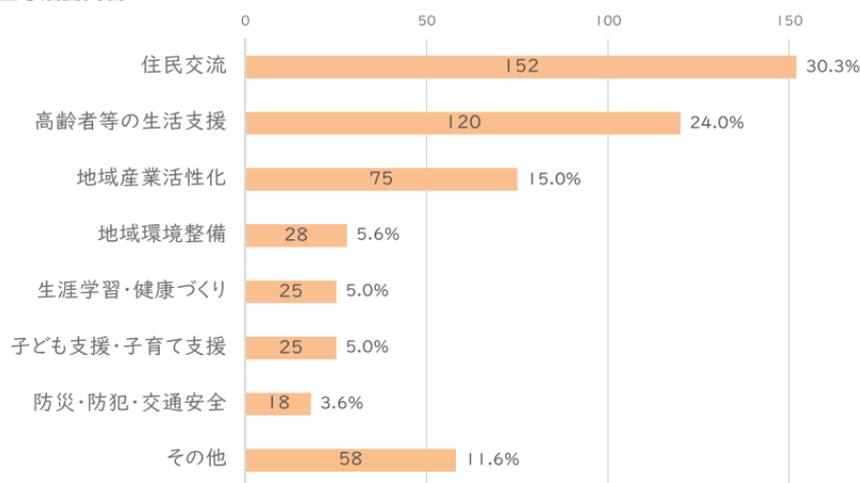
りたいと考えこの企画を提案する。

【子育て支援と運動会を合わせた理由】

理由としては楽しみながら自然に人と人が繋がる場を作るためである。また地域コミュニティの活動内容において子育て支援に対する活動が少なかったという点からこの項目を増やしたいと考えたからである。急に話す場を設けられても最初は緊張で話しにくいという人もいる。しかし運動会など自然に話せる機会を作れば交流ができ様々なコミュニケーションがとれる。

○ 地域コミュニティの活性化につながる活動を行っている地域運営組織として、271市町村から**501団体**について回答があった。主な活動内容としては、**住民交流**が約3割と最多、次いで**高齢者等の生活支援**、**地域産業活性化**が多かった。

■ 主な活動内容



注 各団体における主な活動内容（自由記述）をもとに、総務省において分類
実数は団体数、割合は全団体数（501）に占める割合

参考文献 総務省 場に関する調査結果

https://www.soumu.go.jp/main_content/000964496.pdf

実施までの流れ

・当日の流れ

10：00	開館
10：20	チーム分け発表及びチームメンバーと交流
10：30	第一の競技及び種目の開始
11：10～11：20	休憩
11：20	第二競技、種目開始
12：00～13：00	昼休憩
13：00	子育て講演会及び在住者や子育て経験者との交流開始
15：00	講演会、交流終了後イベントのアンケート回答 解散

・コスト

大阪市立東淀川区民ホール 1日 41,880円（マイク、電気代等）
人件費（市役所の方以外はコスト削減のためにボランティア募集）
企画制作費
運搬費
チラシ等の宣伝費
ビブスなど競技必需品費用
計 40万円（1日あたり）

少人数プラン（屋内）

<p>4チーム 80名</p> <p>80名の場合 @5,000 @体育館 (基本お客様運営)</p>	<p>40万円</p>	<ul style="list-style-type: none">● 会場設営費用 簡易音響 ラインテーブル● 競技用具費用 ・チームビルディング競技プログラム（5種目）● 企画・制作費・スタッフ費用 ・人件費 ディレクター アシスタントディレクター 運営スタッフ ・運搬費・設営撤去1式 ・雑費・諸経費
---	-------------	---

参考文献 運動会プロジェクト 予算について

<https://www.undo-kai.net/budget.html>

【今後のスケジュール予定】

1月初旬 企画説明会実施（市役所に提案）

1月中旬 開催決定後ボランティア募集、全体打合せ

1月下旬 最終確認

2～3月 イベント実施

【会場について】

大阪市立区民ホールを選んだ理由

- ・アクセスの良さ（淡路駅～上新庄駅間 両駅から徒歩 20 分 バス利用で 10 分程度）
 - ・近隣に大型施設があること（徒歩 5 分以内にイオンモールがある）
- 集客、宣伝につながる。買い物帰りによることができる
- ・アイデアを実現しやすい（市役所内に子育て支援センターと体育館があった）
 - ・駐車、駐輪については市役所敷地内および近くのコインパーキングを利用